

# 広島技調じゃけん！通信

2015.3  
Vol.30  
SPRING

広島港湾空港技術調査事務所【略称：広島技調（ひろしまぎちょう）】

## 研修 設計技術研修 2014

毎年、港湾行政の実務に携わる管内の技術者を対象に、港湾・海岸施設を設計するにあたり必要な知識・能力を深めるためのカリキュラムとなります。今年は特別講師として広島大学より土田孝教授をお招きし、『海底地盤の強度定数と円弧すべり解析』について講演をして頂きました。

### ■概要■

日時：平成27年2月9日（月）～10日（火）

- ・波浪推算
- ・海底地盤の強度定数と円弧すべり解析
- ・地震動
- ・液状化
- ・チャート式耐震診断システム
- ・港湾施設的设计



**設計技術研修とは**…港湾行政の実務に携わる技術者に対し、設計手法の基本的事項を習得させるとともに、港湾構造物の設計上必要な幅広い知識・能力を深め、港湾技術者としての意識と技術力の向上を図る。

## 講演報告1 平成26年度 第2回 実りある学舎（まなびや）

学識経験者や各分野のスペシャリストを講師に招き、最新の話題や気になる情報等をテーマとした情報収集の場として、定員に限りはございますが参加費無料で定期開催しています。

今回の講演では、国土技術政策総合研究所（以下、国総研）から講師を招きました。

### ■概要■

日時：平成27年2月26日（木）10:00～12:00

#### ○国総研（横須賀庁舎）の概要

講師：国総研 管理調整部 企画調整課  
鮫島 和範 課長

#### ○「港湾の施設の技術上の基準・同解説」の改訂動向

講師：国総研 港湾研究部 港湾施設研究室  
宮田 正史 室長

#### ○港湾におけるレベル1地震動の作成手法とその特徴

講師：国総研 港湾研究部 港湾施設研究室  
竹田 正寛 主任研究官



## 講演報告2 平成26年度 第2回 民間技術説明会

港湾工事等で活用が期待される新技術の情報収集の場として、定期開催しています。

今回、**4つの技術**について説明いただきました。

### ■概要■

日時：平成27年3月4日（水）14:30～16:40

1. 「マリンストーン（製鋼スラグ底質・水質改善材）」
2. 「個別要素法による大変形解析技術」
3. 「組立式PC栈橋」
4. 「海洋レーダーによる流況・津波観測」



# 確率波高計算処理システムの紹介

港湾施設等の安定性照査や静穏度の照査には、設計波の算定が必要不可欠です。

広島技調ではこれらの算定を行うことが可能な

「確率波高計算処理システム」を構築し保有しています。

このシステムは中国管内の沿岸域をカバーする波浪推算結果をデータベースとして構築されており、格子状に設定した海域の地点における確率波高を任意の再現期間に応じて算定することができます。

システムは、CD-Rを媒体としたインストールシステムであり、高性能のパソコンでなくても使用することが可能です。

右図のように画面は大きく分けて4つで構成されています。

**トップ画面**

**地点選択画面**

**データ編集画面・計算条件設定画面**

**計算処理画面**

NW			N			NE					
NO	経度名	緯度	NO	経度名	緯度	NO	経度名	緯度			
1	171A	32	101	172A	31	99	173A	30	98		
2	180A	78	84	2	182A	74	92	3	183A	70	90
3	191A	71	99	4	191A	72	96	5	192A	68	94
4	180A	71	102	5	180A	65	98	6	180A	65	92
5	180A	74	98	6	180A	65	92	7	181A	63	90
6	180A	65	92	7	181A	63	90	8	182A	57	88
7	180A	55	90	8	182A	57	88	9	183A	54	86
8	180A	54	88	9	183A	54	86	10	180A	52	84
9	180A	52	86	10	180A	52	84	11	180A	52	84
10	180A	52	86	11	180A	52	84	12	180A	51	82
11	180A	54	88	12	180A	51	82	13	180A	50	80
12	180A	54	88	13	180A	50	80	14	181A	47	78
13	180A	54	86	14	181A	47	78	15	180A	47	76
14	180A	51	83	15	180A	47	76	16	180A	47	74
15	180A	51	83	16	180A	47	74	17	180A	45	72
16	180A	51	83	17	180A	45	72	18	180A	45	70
17	180A	51	83	18	180A	45	70	19	181A	42	70
18	180A	54	78	19	181A	42	70	20	180A	41	70
19	180A	45	73	20	180A	41	70	21	180A	41	68
20	180A	44	71	21	180A	41	68	22	180A	39	68
21	180A	44	71	22	180A	39	68				
22	180A	44	71								

なお、システムの詳細は、バックナンバー「広島技調じゃけん！通信 第15号」に掲載していますのでご参照ください。

また、本システムは、システムの使用目的が公共性が高いと判断される場合、貸出を行っています。

(問い合わせ先：広島技調調査課)

## 編集後記

コンピュータ環境の急速な発展により、計算処理能力が増大し、設計分野においても2次元・3次元と言った高度な数値計算の導入が発展しています。更に、コンピュータ環境はまだまだ発展途上であり、今ある「高度」という言葉は、あっという間に次の「高度」に埋もれる状況にあります。

そのような状況の中、設計者には、常に最新の情報を学びつつ、設計時点を的確に捉え、その時点における最新の知見に基づく設計を行うことが求められています。

時間をかけて学んだ「新しい知見」も、いざ使うときには「古い知見」になってしまうこともあるのです。

しかし、学んだ知見は決して無駄ではなく、むしろ「古い知見」を理解していないと、「新しい知見」も到底理解できないと考えています。・・・平成26年度、学ぶことは途方もなく多いことを学びました。(T. M)



国土交通省 中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所

〒730-0051 広島市中区大手町3-13-18 松村ビル5F

【TEL】082-545-7015 【FAX】082-545-7019

広島技調

検索